



田植え体験・交流会

「潮来あやめちゃん」「一番星」等の潮来市産米のPRを目的に、潮来市大規模稲作研究会の主催により、田植え体験・交流会が開催されました。潮来市産米を取り扱う県内・東京都内の米穀店関係者や、潮来市の交流都市である東京都荒川区の関係者、市内小学生など、約200名が参加しました。参加者からは「土が冷たくて気持ちいい」「カエルがいるよ」など、楽しそうな声が聞かれました。

堀之内地区・島須地区・
水郷県民の森

5/28(日)



牛堀小学校



潮来第二中学校

市内小中学校で運動会・体育祭

5月27日(土)に市内各中学校で体育祭が、また6月4日(日)には津知小学校、日の出小学校、牛堀小学校で運動会が行われました。両日ともに爽やかな青空の下で、徒競走や玉入れ、綱引きなど、チーム一丸となり全力で競い合う児童生徒の皆さんの声が響いていました。

津知小・日の出小・牛堀小
6/4(日)

市内各中学校
5/27(土)



子ども食堂「にじっこカフェ」で飯ごう炊飯体験

子ども食堂「にじっこカフェ」で飯ごう炊飯が行われ、参加者は米をとき火にかける工程を体験し、炊き立てのご飯をほおばりました。その後、にじっこカフェメンバー手作りの夏野菜カレーやフルーツジュレなどが並びテーブルを囲み、参加者は和気あいあいと食事を楽しんでいました。代表の勝田和美さんは「誰でも気軽に来れ、人が繋がれる地域のよりどころになれたら」と話していました。

日の出浪逆会館・潮音寺

6/10(土)



サツマイモ苗植え

潮来小学校の1・2年生の児童とあやめこども園の園児、約90名がサツマイモの苗植えを行いました。児童・園児の皆さんは、植え方の説明をしっかりと聞いた後、穴の開いたマルチに次々と苗を植えていき、約3,700本の苗をあっという間に植え終えることができました。秋には今回植えたサツマイモの収穫を体験してもらう予定です。

大生地区

5/31(水)



5月28日(日) 潮来公民館 潮来市文化講演会「川瀬巴水 はなぜ潮来を愛したのか」

大正・昭和期の浮世絵師、版画家の川瀬巴水をテーマに、文化講演会が開催されました。第一部では、講師として茨城キリスト教大学教授の染谷智幸さん、国際新版画協会長・ギャラリーヌーベル代表の鈴木昇さんを講師に、それぞれから講演をいただきました。第二部では、「水の小都（潮来）における観光・環境・防災」をテーマにパネルディスカッションが行われました。



5月28日(日) 常陸利根川・日の出ほか 水郷潮来トライアスロン2023

ボートセンター「あめんぼ」を発着点に、「水郷潮来トライアスロン2023」が開催されました。風が強く吹く中でしたが、約280名の選手がスイム・バイク・ランで熱いレースを繰り広げました。スタンダードの部・男子では、鹿嶋市の松丸真幸選手が、同部・女子では、東京都の中村祥代選手がそれぞれ優勝されました。



5月25日(木) 市長室 社会を明るくする運動 メッセージ伝達

なめがた地区保護司会（会長：前島達男さん）が市長を訪ね、「第73回社会を明るくする運動」推進にあたっての内閣総理大臣メッセージを伝達しました。「社会を明るくする運動」は、誰一人取り残さない社会の実現に向け、犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域を築くための全国的な運動です。



6月26日(月) 市長室 潮来市議会 新型コロナウイルス 感染症対策特別委員会 提言書提出

潮来市議会は、新型コロナウイルス感染症が5月8日より「5類感染症」になったことを受け、これまでの新型コロナウイルス感染症にかかる市議会での検討・協議について統括し、市に提言書を提出しました。提言書の内容は、今後起こりうる新たな感染症に備えるため、地域経済の確保や、教育・福祉現場の対応等となっています。



6月6日(火) 牛堀中学校 JOCオリンピック教室

牛堀中学校の2年生を対象に、2008年北京オリンピック競泳銅メダリストの佐藤久佳さんが、自身の様々な経験を通して「オリンピズム」やその価値などについて授業を行いました。佐藤さんは、「物事に一生懸命取り組むことは色々なことに繋がっている。今の自分が一生懸命頑張っていれば、未来の自分はさらに良くなっていく」と生徒たちに語りかけていました。



6月4日(日) 潮来IC付近 潮来市議会議員 植栽作業

潮来市を訪れる方を色とりどりの花で歓迎するため、潮来市議会議員有志により、ゲートパーク（潮来インターチェンジ付近の植栽帯）で、ポチュラカやニチニチソウ合計約800株の苗植えと、コスモスの種まきが行われました。今回植えられた花は8月から9月にかけて見頃を迎える予定です。